

御 嶽 山

○概況 (平成 17 年 12 月)

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

○地震及び微動の発生状況

火山性地震の発生回数は少なく、静穏に経過しました (図 1)。

火山性微動は観測されませんでした。

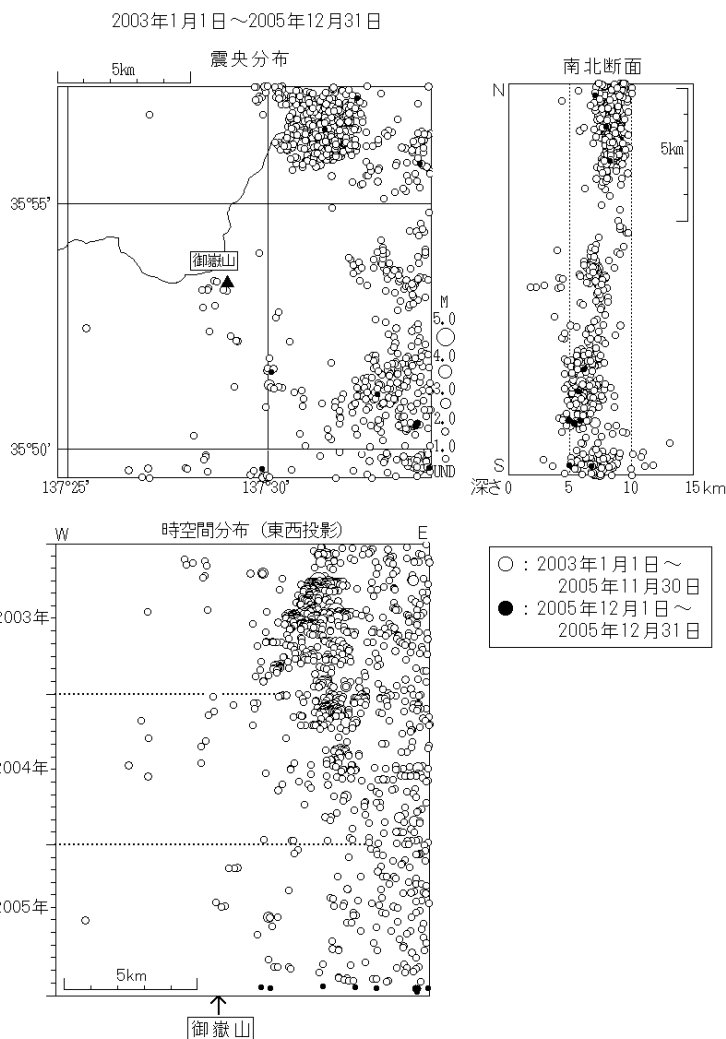


図 1* 御嶽山 周辺の地震活動

(2003 年 1 月 1 日～2005 年 12 月 31 日)

上段左 : 震央分布

上段右 : 南北断面

下段 : 時空間分布 (東西投影)

○噴煙の状況

三岳黒沢 (王滝頂上の南東約14km) に設置した遠望カメラ¹⁾ では、王滝頂上付近及び地獄谷からの噴煙は観測されませんでした (図 2)。

1) 11 月 1 日の町村合併に伴い、気象庁遠望カメラの観測点名称は従来の「三岳村役場」から「三岳黒沢」に変更しました。

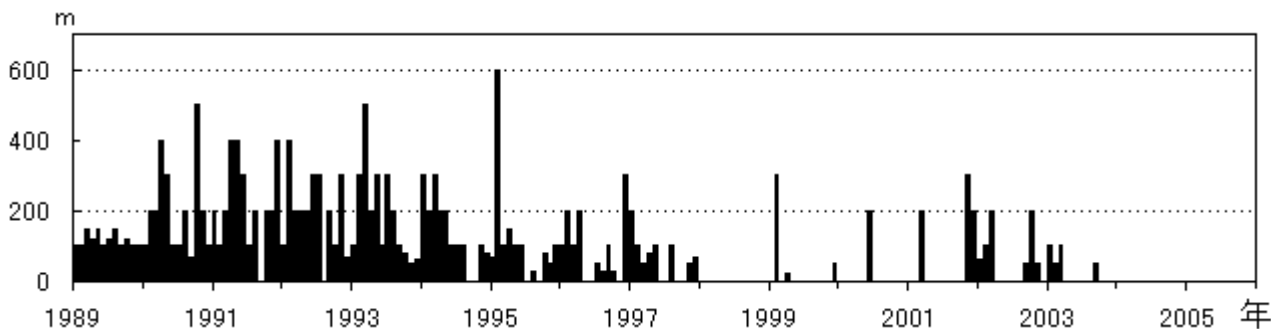


図 2 御嶽山 月別最大噴煙高度 (1989 年 1 月～2005 年 12 月)

※この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等を利用して作成しています。

○地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変化は認められませんでした (図 3)。

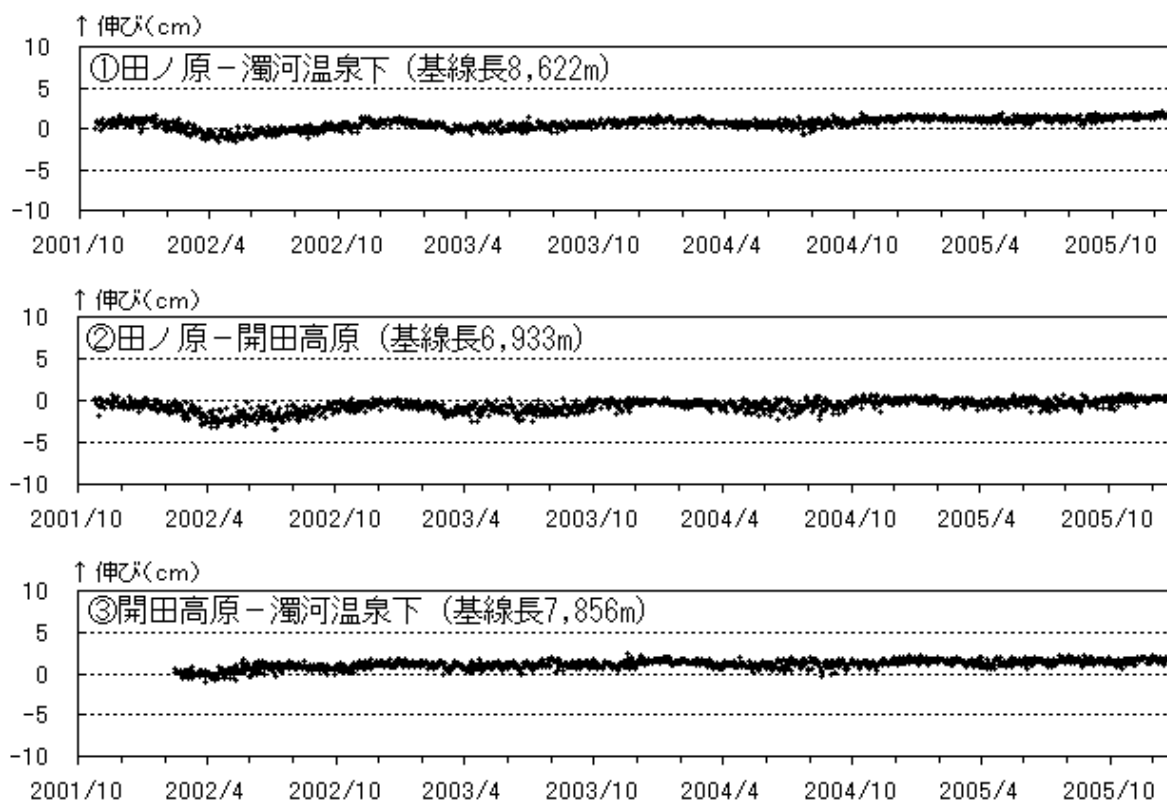


図 3 御嶽山 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 10 月 23 日~2005 年 12 月 31 日)
 基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

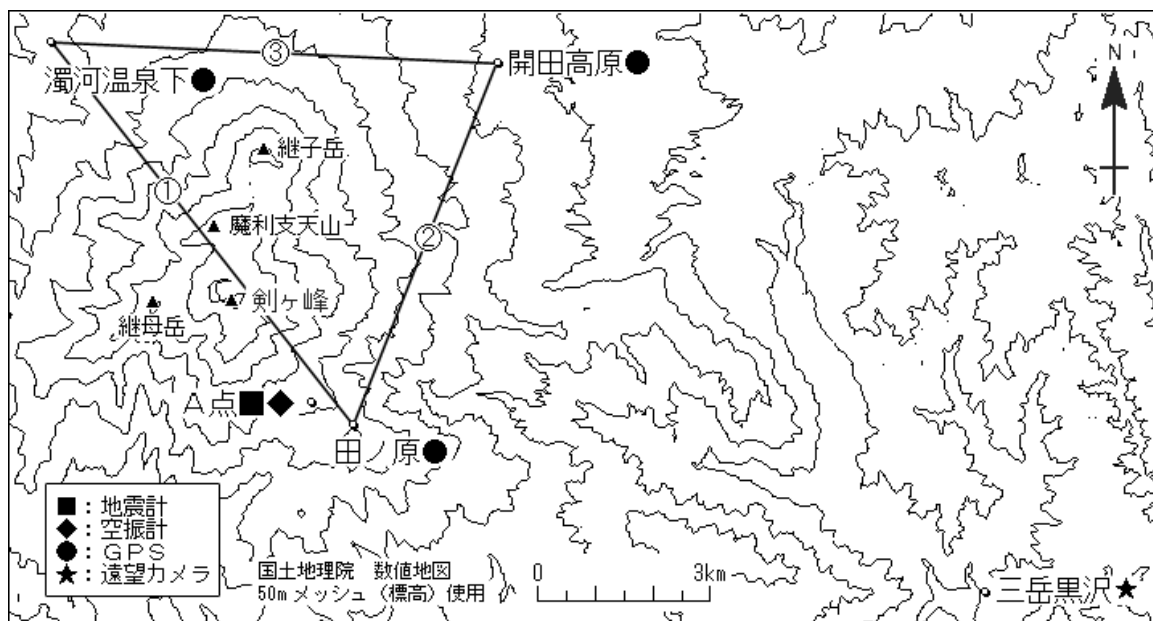


図 4 御嶽山 気象庁の常時観測点配置図

注) 11月1日の町村合併に伴い、気象庁遠望カメラの観測点名称は従来の「三岳村役場」から「三岳黒沢」に変更しました。